

東浦中学校 キャリアプロジェクト未来

神谷 明彦
(東浦町長)

はじめに

私のお話は決して正解ではない。ヒントの一つとして捉えること。

マスコミ、ネット情報を鵜呑みにしない。

信じられるのは自分。と言っても、自分とは何かは一生の課題。

「働く」とは何か

- なぜ仕事を持つのか？
- 昔であれば狩猟、農耕、生きる糧(かて)
- 食べるために
- 生活費を得るために
- 世の中から必要とされることでないとお金はもらえない
- 他人から必要とされる、信頼される→生きがい・しあわせ

町長(首長)の仕事とは

- 役場とは？公務員とは？ 学校は誰のもの？
- 町の代表？町で一番偉い人×役場の社長○
- どんなまちをつくっていきたいか自分の考えを出せるので、やりがいはある。

町長の毎日の様子

先週の公務記録

月日		時間	内容
18日	土曜日	午前	東浦町スポーツ少年団 駅伝大会
			2020花半島事業フラワーフェスティバル
		午後	東浦町教育フォーラム
			県職東浦会定期総会
19日	日曜日	午前	緒川地区 新春もちつき・カラオケ演芸大会
20日	月曜日	午前	行政経営会議
		午後	警察署誘致陳情
22日	水曜日	終日	名古屋三河道路推進協議会要望会
23日	木曜日	午前	於大まつり推進協議会
		午後	3月補正予算裁定
24日	金曜日	午前	知多郡町村会定例会
		午後	東部知多衛生組合 管理者・副管理者会議

今日の予定・・・1月17日(月)

- 5:30 自宅パソコンで「東中キャリアプロジェクト」の準備
- 8:30 東中に向かう
- 9:55 東中キャリアプロジェクト
- 10:30 来客
- 14:00 産業まつり推進協議会
- 16:30 自然環境学習の森 写真&絵画コンテスト表彰式
- 18:00 帰宅予定

東浦をどんなまちにしていきたいか いまやっていること

「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち東浦」

- 住民参加を柱として、持続可能なまちづくりをする
- 便利で安全で自然環境にも恵まれた美しいまち
- 困ったときに互いに支え合えるまち
- 子どもたちが成長し活躍するまち
- 図書館を楽しくしよう

良い町にするには・・・

- ・自分も町で暮らす住民の一人 みんなが当事者意識を持って参加する
- ・良い議員・町長を選ぶ・・・選挙に行く
- ・まず、自分が幸せになる

子どもの時に何になりたかったか

小学校の卒業文集に書いた将来の夢は、

「エジソンや豊田佐吉のように世の中に役立つ発明をする。」

これまでの自分史

- 1959年 生まれる
- 1972年 小学校卒業
- 1975年 中学校卒業
- 1978年 高校卒業
- 1982年 大学(理学部化学科)卒業
- 1984年 大学院(化学専攻)修了
- 1984年 富士フイルム(株)入社
(感光性高分子の開発研究)
- 1989年 東浦に帰郷、大生紡績入社
- 1999年 東浦町議会議員に当選
- 2011年 東浦町長に就任

夢のつくり方と叶え方 (ランディー・パウシュの例)

My Childhood Dreams

- Being in zero gravity
- Playing in the NFL
- Authoring an article in the World Book encyclopedia
- Being Captain Kirk
- Winning stuffed animals
- Being a Disney Imagineer

子どものころの夢

(○○になりたい ⇔ ○○をしたい)

- ・無重力を体験する
- ・ナショナルフットボールリーグでプレイする
- ・World Book encyclopedia (ベストセラーの百科事典)を執筆する
- ・スタートレックのカーク船長になる
- ・ぬいぐるみをゲットする
- ・ディズニーの画像をつくる

生きがいとは何か？

一生かかるかもしれないけど、自分で考え悩むこと。
そして、自分の価値観を持つ。

人から正解を教えてもらうことではない。
(ヒントはたくさんもらってよい。)

皆さんも思い出をいっぱい作って、大きくなったら、東浦中学校で、将来の中学生にお話ししてあげてください。

就職した仕事が自分に合わないと思ったら？

自分に合う仕事が見つかるまで転職を繰り返す？

たまたま就いた仕事を運命の出会いと思う？

自分の仕事を好きになる能力が大事。

自分なりに面白みを見つけて頑張れる能力。

「何になりたい」よりも、「何がしたい」が大事。